



加賀市議会だより VOL. 79

こんにちは 議会 です。

..... 令和7年(2025年) 8月1日

特集

議会報告会「議会おでかけトーク」
2・3ページをご覧ください。

ピックアップ

子ども・高齢者の移動支援実証事業
市史編纂事業
詳しくは5ページをご覧ください。

加賀市議会
Instagram



加賀市議会
Facebook



マチイロ



届け! 私たちの声

議会活性化特別委員会広報部員が取材した
市内で頑張る団体の声を紹介します。

石川県加賀市立動橋小学校



動橋小学校
公式HP

学校教育目標

「自ら学び たくましく生きる
心豊かな児童の育成」

～行きたい学校 幸せな学校は 自分で 自分たちで 生み出す～



学ぶ場所、学び方、学ぶ相手は自分で決める。だから自分らしく学べる！
視聴覚室は「いぶりっ子ルーム」という名前になり、子どもたちのお気に入りの部屋になっています。



～一人一人が学びの主役～

- 学校の遊具がもっと増えたらいいな。
- 動橋川で釣りやカヌー、SUP(※)などで遊べるようになったらいいな。
- 学校にある鉄道馬車をみんなが見学できる展示場に設置したらいいな。

(※) SUP: ボードの上に立ち、パドルで漕ぎながら水面を進むスポーツ



地域の名人・先生にご指導いただき、クラブ活動をしています。

抹茶、アドベンチャー、料理、ビーズ手芸、トランポリン、軽スポーツ、昔遊び、写真などのクラブがあります。
この写真は、写真クラブの児童が撮りました。



～クラブ活動は町の先生と～

毎年、3年生は自分たちで「ぐず」を作ってぐず焼き祭りに参加しています。



～ぐず焼き祭りは我々の誇り～

町の先生と一緒に骨組みから作り、「子どもぐず」でお祭りを盛り上げます。

議会Youtube
チャンネルは
コチラ！



多数のご参加
ありがとうございます
ございました

議会報告会 議会おでかけトーク結果報告!!



▲議会おでかけトークの様子

5月に市内11会場で議会報告会「議会おでかけトーク」を開催しました。

議会の取り組みについて4点を紹介し、その後、グループトーク方式で意見交換を行いました。

ご参加いただいた約300人の市民の皆さんには、お忙しい中お集まりいただき、また、ご意見・ご提案も賜りましてありがとうございます。

今回いただきましたご意見・ご提案は、委員会や定例会での一般質問に反映させるなど、今後の市政、議会活動の参考とさせていただきます。

\\ みんなの声を、届けます! //



避難時、
要介護者を連れて
どうしたらよいか
分からない。また、何を
準備しておくのが
良いか指導してほしい。

避難所が人で
いっぱいになったら
どうするか？
また、避難所のトイレ
周りを覆うものが
あるとよい。

テーマ

～災害(防災)対策について～

加賀温泉駅前を
お祭り広場にして、
にぎわい創出のために
活用してほしい。

若者を
増やすため、
観光大学を常設
してはどうか。

テーマ

～にぎわいの創出について～

ひまわり・
チューリップ・
つつじ祭りなどを
開催してほしい。

新幹線が通ったのに、
観光誘客に
うまく活用できて
いないように
感じる・・・





【アンケート結果】

Q 議会おでかけトークに参加してどう思いましたか

大変よかった……………	27.2%	よくなかった………	1.8%
まあまあよかった………	61.4%	その他……………	1.1%
あまりよくなかった………	6.3%	無回答……………	2.2%

テーマ

～子育て支援について～

産婦人科が少ない。
産後、離乳食を
持たなくても行ける
施設がほしい。

安全に遊べる
室内外の
施設がほしい。

AIよりも、
人と関わったり、
体を動かして
欲しい！

保育園・学校の
統廃合の問題について、
市と地域の考え方に
違いがある。

横文字を無くし、
分かりやすく
してほしい。

この他にも

テーマ1 災害（防災）対策

- ・マンホールトイレを導入してほしい。
- ・自主避難するにもどこが最適なのか。災害にもよるが、各地区の弱点を示すのがよい。
- ・市が備蓄している物品は何か？量は？非常時にはどの位で届くのか分からない。

テーマ2 にぎわい創出

- ・加賀市に大型スポーツ店がないのでほしい。
- ・温泉街での食べ歩きの実現を。
- ・3温泉の連携を進め、さらに宣伝するのがよい。

テーマ3 子育て支援

- ・病児保育が少なく、まともに働けない。
- ・夜間の小児急患を加賀市内で診てほしい。
- ・学童利用料を安くしてほしい。

テーマ4 地域交通

- ・子どもたちの通学のためのスクールバスを充実させてほしい。
- ・乗合タクシーの利用方法が高齢者には難しい。
- ・高齢者はクレジットカードや電子マネーが使えないのでは。

などのご意見等をいただきました。

テーマ

～地域交通について～

地域交通の
AIオンデマンドとは？
顔パスの登録方法など
高齢者には
理解できない。

高齢者が
移動するための
手段が少ない。

車いすや体に
ハンデがある人が
利用しやすいように
してほしい。

障がいのある人も
安心して使える
乗合タクシーを
目指してほしい。



議会おでかけ教室

令和7年5月22日に、山代小学校（6年生）で議会おでかけ教室を実施しました。

今回で3回目となったこの取り組みでは、議員が分かりやすい言葉で、議会の仕組みや、議会と市長の関係などを説明しました。

途中でクイズを交えながら議会や市政について楽しく講義を行いました。児童たちからは議会で一番偉い人は誰かなど次々に質問が出ていました。

この取り組みが子どもたちにとって、議会や市政に興味を持っていただくきっかけになれば幸いです。



▲6年1組



▲6年2組



▲6年3組

令和7年6月定例会の概要

会期 ● 6月9日(月)
～6月26日(木)

令和7年6月定例会で審議した市長提出議案15件・
議会提出議案4件について、全議案とも原案どおり
承認・可決・同意されました。

市長提出議案

- 報告案件…………… 2件
- 予算案件(令和7年度補正予算) …… 1件
- 条例案件…………… 7件
- その他案件…………… 5件



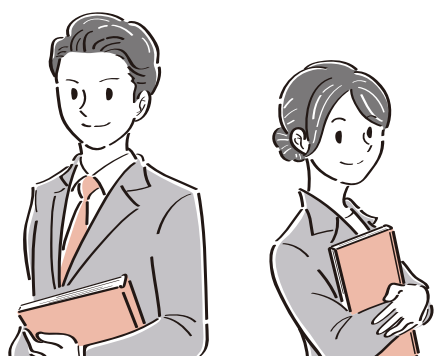
▲賛否が分かれる議案について、議員による起立採決の様子です。

※各議案については、加賀市議会ホームページをご覧ください。

※賛否が分かれた議案の議決結果は、16ページの「議決一覧」を
ご覧ください。

加賀市議会ホームページ

<https://www.city.kaga.ishikawa.jp/gikai/index.html>



令和7年6月定例会の議会提出議案

議会提出議案

全会一致で可決

のうせき ずい えき ろうしゆつしやう

脳脊髄液漏出症患者救済に関する意見書

ブラッドパッチ療法が保険導入されたことや県内の診療可能な医療機関などの情報提供がされているが、依然、この疾患しっかんについての認知度は低く、また、交通事故などにより罹患期間が長くなることで症状が治りにくくなり後遺症が出てしまうケースがある中、後遺障害等級が、自賠責保険制度では適切に認定されず、多くの患者が救済されていないとの報告もある。

公平性や透明性を確保するため、適切な措置を講ずるよう国に対し要望する。

賛成多数で可決

持続可能な高額療養費制度になるよう 更なる議論を求める意見書

患者の方々の状況や意見を十分に考慮し、セーフティネットである高額療養費制度を将来にわたって持続可能なものとするため、さらなる議論を慎重に進めるよう国に対し要望する。

「議会が提出する意見書とは？」

意見書とは、地方公共団体の公益に関することについて、議会がその意思を意見としてまとめた文書のことです。議会はこうした意見書を、国会や関係行政に提出することができます。意見書には法的拘束力はありませんが、住民代表である議会の総意として尊重されます。



質疑・一般質問

市政を問う。



6月19日、20日の2日間にわたり、13人が質問しました。

個人質問

辰川 志郎 議員 …… P 6
稲垣 清也 議員 …… P 6
林 俊昭 議員 …… P 6
一色 眞一 議員 …… P 7
上野 清隆 議員 …… P 7

南出 貞子 議員 …… P 7
若林 高 議員 …… P 8
東野 真樹 議員 …… P 8
川下 勉 議員 …… P 8
荒谷 啓一 議員 …… P 9

中川 敬雄 議員 …… P 9
林 直史 議員 …… P 9
上田 朋和 議員 …… P10



ここで紹介している質問・答弁は、それぞれの内容を要約したものです。

なお、会議録は、後日議会ホームページから閲覧できます。

また、当日の質疑・一般質問の映像は加賀市議会YouTubeチャンネルから視聴できます。

- ・議会ホームページ <http://www.city.kaga.ishikawa.jp/gikai/gikai.html>
- ・議会Youtubeチャンネル https://www.youtube.com/channel/UCtRm_TmFaD_OAu3BHZTETOQ

議会
ホームページ



議会Youtube
チャンネル



ピックアップ!

子ども・高齢者の移動支援実証事業〔事業費840万円〕

移動最適化(MaaS)都市加賀市に向けて、子どもと高齢者を対象にした移動支援実証事業を行う。この実証事業を通じて、子どもたちや高齢者の移動の自由を確保することで、子育て世代の送迎の負担軽減や高齢者の外出機会の増加によるフレイル予防など、生活の質(QOL)の向上を図る。

※フレイル：加齢に伴い体力や気力が落ちて、食欲や外出への意欲が低下していく状態



市史編纂事業〔事業費262万2,000円〕

合併20周年を節目として市史編纂事業に取り組む。昭和54年の『加賀市史・通史下巻』以後の旧加賀市や合併以降の市政等の情報を後世に残すとともに、市民向けの新たな図説の編さん、刊行を通じて、市民の郷土愛の醸成を図る。

〔総事業費2,500万円〕

事業年度：令和7年度～令和10年度(予定)〕

①(仮称)図説編

- 主な対象：市民、加賀市出身など
- 年代：原始～現代
- 歴史・民俗・文化など
- 新史料・学説に基づく記述(旧市史の補遺、時点修正)



カラー写真や図で
分かりやすく

②(仮称)現代編

- 主な対象：後世の市民など
- 年代：昭和50年代～現在
- 行政資料に基づく市政の歴史や災害等の主なできごとなど



電子版も想定。
検索機能などで
活用しやすく

個人質問

辰川 志郎 議員
たづかわ しろう

既存商店街での プレミアム商品券の 発行を！



問 近年、郊外の大形店などの出店により、既存の商店での売り上げが伸び悩み、さらには経営者の高齢化や後継者不足などで継続が困難な状態にある。既存店の売り上げの向上や事業継続の可能性のため、市内商店街限定のプレミアム商品券の発行を検討してみてもどうか。

答 プレミアム商品券は地域の需要を刺激し、市内商店の活性化に役立つ手法の一つである。しかし実施に当たり、プレミアム分の原資が必要で、財源となる交付金があれば、実施できる事業やその内容について検討する。

(産業振興部長)



議員の
ひこと

加賀市では現在、新規開業事業者に対して、店舗の改装費に対する助成制度がある。既存の商店はこれまでの加賀市を支えてきた貴重な存在である。新しい事業者を育てるのも重要であるが、それ以上に既存商店を維持させることも大切である。当局は国の助成を受けられるべく努力が必要となる。既存の商店の売り上げが向上すれば、必ず後継者も確保できる。

他の
質問
未来型商業エリア ほか

個人質問

稲垣 清也 議員
いながき しんや

国の地方創生2・0 基本構想とは？



問 加賀市は国の小規模・地域共生ホーム型CCRC構想をどう捉えているのか？

答 多世代が共生し、誰もが住み慣れた地域で生涯にわたり暮らせるまちの実現は本市のライフデザイン推進の考え方と完全に合致するもので、全庁を挙げ取り組んでいかなければならないと考えている。また、この構想は介護・障がいサービスの安定的な提供と住まいの確保といった本市の福祉現場の喫緊の課題解決に直結するものである。

まず、高齢者の生活の質の向上と、住み慣れた地域での安心した居住環境を確保するため、きめ細やかな住み替え支援を進めていく。具体的には事業者の意向も踏まえ既存の福祉施設や民間賃貸住宅等を高齢者が安心して暮らせる「小規模・多機能型シェアハウス」に転用・整備するモデルの創出を進めて行くとともに、国の補助メニューを活用した改修補助金制度の創設や設計・運営ガイドラインの策定を進めていく。(市長)

議員の
ひこと

空き家を単なる有休資産で終わらせず
貴重な資源にしていく。

他の
質問

子ども・高齢者の移動支援実証事業、加賀市版スマートパス事業、新教育長の所信、スワトン保育園と片山津中学校へのアクセス道路 ほか

個人質問

林 俊昭 議員
はやし としあき

中堅・若手職員の 大量退職への対応は？



問 近年、加賀市役所では、30代、40代の中堅・若手職員の大量退職が続いており、市長肝入りの「人材育成」ができていない。この事態をどう捉え、どう対策を講じるのか？

答 近年、仕事への考え方や価値観は多様化している。人材の流動性が高まる中、職務経験者も含めた採用にも努めている。

退職の理由は人さまざまであるが、退職者の増加は、加賀市だけの問題ではなく、国やほかの自治体も同様であり、勤務環境や給与面での魅力低下などもあり、自治体で就職することが若年層にとって魅力的な選択肢ではないとの分析もあった。

今後も、退職等を検討している相談者への個別のフォローアップの充実や、職員が能力を十分に発揮し、働き続けられるような職場環境づくりを進めていく。(総務部長)



議員の
ひこと

若手職員の大量退職の原因をいつまでも一般論で片付けてよいのか。加賀市役所特有の問題点をしっかり洗い出し、対策を講じなければ、今後も若年層の退職は続くことになる！

他の
質問
エンジン・in加賀温泉 ほか

個人質問

一色 眞一 議員

防災備蓄品に関する
情報の周知徹底を！



問 先日「議会おでかけトーク」で、住民からは「加賀市の防災備蓄品がどこに、どれだけあるのか私たちは知らない」、周知徹底してほしい、「各地区会館に、発電機や常夜灯、毛布や防寒具、食料・水は常備してほしい」などの要望が多かったが、これらの要望に対する当局の所見を問う。

答 すぐに運び出せる物資については、中央公園にある防災備蓄倉庫で集中管理を行っているが、7月中旬までに、各地区へ

分散配備する。非常用発電機、投光器、電動簡易トイレなどすぐに運び出せない大型物資は、指定避難所として開設される機会の多い地区会館を優先して、計画的に配備を進めている。



議員のひとこと 「災害は忘れたころにやってくる」を肝に銘じ、いつ起こるか分からない災害に備えることが大切！使わなかったときは、「何もなくよかった」で結果オーライ！

他の質問 物価高騰対策、福井平野東縁断層帯地震評価見直し、小・中学校のトイレ、国旗掲揚調査 ほか

個人質問

上野 清隆 議員

リチウムイオン電池の
捨て方の周知・啓発の
強化を！



問 リチウムイオン電池を含む電化製品の廃棄方法について、加賀市はどのように周知・啓発しているのか示せ。

答 取り外したリチウムイオン電池は、電器店などのリサイクル回収ボックスをご利用いただき、最寄りに協力店がない場合は、毎月の「有害ごみの収集日」に出していただくか、美化センターへ直接持ち込んでいただくよう、加賀市のホームページや広報などが案内している。

安心・安全なごみ処理を行うためにも、ごみの分別の徹底は、とても大切であり、市民一人一人の意識が大変重要である。

誤廃棄をできる限り減らすためにも、継続した周知・啓発が重要であり、かもまる講座やエコフェスタなどの環境イベントの機会を捉え、リチウムイオン電池など、ごみの分別、廃棄方法の周知・啓発を行っていく。（産業振興部長）



議員のひとこと 分別は市民の責務！リサイクルボックスの活用の周知を徹底してほしい。

他の質問 加賀市総合防災訓練、投票率向上の取組 ほか

個人質問

南出 貞子 議員

山代小学校は
建て替えるの？



問 山代小学校は昭和36年に建築され、築60年以上経過している学校であり、学校全体の老朽化が著しい。昨年の耐力度調査の結果を踏まえ、今後の整備方針や建て替え時期などのスケジュールを示せ。

答 調査の結果、校舎については所要の耐力度点数に達しており、施設としての耐力度はまだあるとの結果であった。しかし、昭和45年建築の体育館は耐力度点数を満たしておらず、内装の剥落やトイレの悪臭が発生していることなどの状況を考慮し、今後の整備方針を検討していく。

仮に建て替えを行う場合は、建物の規模や周囲の環境を踏まえ、現地で建て替えか、また移転が必要かも精査しなければならない。移転が必要となった場合、ある程度の期間が必要と予想されるため、児童、教職員に配慮しつつ、保護者や地域の方のご意見もお聞きしながら整備方針を決定し、お知らせする。



▲山代小学校体育館

議員のひとこと 子どもたちには安心・安全な環境で勉強してほしい！

他の質問 開湯1300年を迎える山代温泉を含む加賀市、デジタル人材育成事業 ほか

個人質問

若林 高 議員
わかばやし こう

大聖寺駅前の
横断歩道の段差を
無くそう！



問 大聖寺駅前の横断歩道を渡ると段差があり、車いすやバギーなどでは上れないと市民の方からご意見をいただき、実際に市民の方と確認してきた。この段差を避けて、切り下げのところへ行くには、駅に向かって左側に30メートルほど戻るか、駅に向かって右側のトイレ前へ移動しなければならず、大変不便である。その際、道路の際を自走、もしくは押すとなると車両との接触も考えられ危険だ。切り下げを設けるべきと考えるが、市の所見を問う。

答 ご指摘の横断歩道、段差がある箇所は、ＩＲいしかわ鉄道が所有・管理している区域になる。市としては、全ての駅利用者の安全と利便性向上の点から、施設管理者であるＩＲいしかわ鉄道に歩道切り下げによる段差の解消を依頼する。
(建設部長)



▲横断歩道、段差

**議員の
ひと言** 当事者の方々には喫緊の課題であり、早急な対応をお願いする。

他の
質問

新加賀市屋内プール整備事業、部活動の地域移行にかかるマイクロスバス等の貸し出し ほか

個人質問

東野 真樹 議員
ひがしの まさき

市内高校の
魅力化を図れ！



問 法政大学理工学部・加賀高校・加賀市の包括連携協定における取り組みや石川県教育委員会・PTA等との連携、また学生・その他高校・企業との連携をどのように具体化して進めるのか。

答 法政大学理工学部・加賀高校・加賀市の包括連携協定では、加賀高校で大学と連携した授業の受講ができるようになるなど、自らの可能性を追求できる学習環境を整える。将来的には指定校推薦など進路の選択肢を広げ、加賀高校へ進学したい生徒の増加につなげたい。

また、地域の未来を担う人材育成にもつなげ、Ｕターンで地元企業に就職することで地域の活性化を図る重要な取り組みである。この取り組みを進めて行くためには県教委やPTA、地域の各団体との連携が重要であり、一体となった体制の構築を図る。

今後は、市内にある他の高校についても同様に連携することで、地域活性化につながる人材育成モデルを構築していきたい。(市長)



▲加賀高校

**議員の
ひと言** 高校を無くすのは簡単、再び建てるのは難しいという思いで進めてほしい。

他の
質問

加賀市消防に関する地域防災力の強化 ほか

個人質問

川下 勉 議員
かわした つとむ

病院事業の
経営改善を！



問 令和6年度決算状況は前年度や予算と比較してどうか示せ。また、経営改善の取り組みについて、3月定例会での病院事業管理者の答弁内容及び私が提案した取り組みの具体的な実施状況と改善内容を示せ。

答 令和6年度の純損益は、赤字予算2億3,300万円を上回り、5億4,500万円の赤字決算となる見込みである。令和5年度の決算は、1億6,500万円の赤字であったので、予算比、前年度比ともに赤字額は増加の見込みとなる。

経営改善については、職員が経営意識を持つ全体研修等の研修を実施した。地域医療機関からの紹介受診患者を増やす取り組みでは地域の医療機関への訪問を強化するなどした結果、令和6年度の病床稼働率は令和5年度に比べ、3.2ポイントの上昇となった。

議員から提案があった「外部有識者を交えた対策チーム」の取り組みでは、コンサルタント会社と連携したプロジェクトを立ち上げ、収益の増加・費用の見直し効果が見込める各部門の担当医師を配置し、収益向上と費用削減の両観点から経営改善を図っていく。(医療センター管理部長)

**議員の
ひと言** 本会議閉会後、赤字見込額は下方修正されて報告されていたが、厳しい状況である。経営状況が改善され、黒字経営になることを願う！

他の
質問

加賀高校の魅力向上と動橋駅再生 ほか

個人質問

荒谷 啓一 議員
あらたに けいち

山中温泉地区会館整備の
今後のスケジュールは？



問 山中温泉地区会館整備検討会の概要とこれまでに出された意見、今後の検討課題、想定される整備スケジュールを示せ。

答 施設の設計に必要な「要件整理」を行うため、5回にわたり検討を重ねてきた。その中で「整備適地」について、現在の山中温泉文化会館と児童センターを解体し、同じ場所で児童センター機能を有した地区会館を整備してほしいとの要望書が市に出された。また、防災拠点としての整備を求める意見も多く出された。検討会については、建物の基本的なところの意見がまとまってきたため一区切りとしたい。

今後のスケジュールについては、令和7年度に文化会館と児童センターの解体設計、8年度に解体工事と並行して建物の設計、9年度に建設工事着手、10年度のオープンを想定している。（総務部長）



▲山中温泉文化会館と
山中児童センター（右奥）

議員の
ひとこと
想定スケジュールのとおり、ぜひ順当に進めてほしい。

他の
質問

山中温泉ゆけむり健康村の再公募、街路樹の対応策と今後の方針、通学路の交通安全対策、加賀温泉郷観光地再生キックオフ式の意義、高付加価値商品造成・プロモーション事業

個人質問

中川 敬雄 議員
なかがわ たかお

加賀温泉駅前の全天候型
広場施設の今後は？



問 加賀温泉駅前の全天候型広場施設の建設が来春の完成に向けて進んでいるが、どのような進捗状況なのか。また完成後の運営はどのようにしていくのか？

答 全天候型広場施設は令和8年春の完成に向け、鋭意施工中である。現場は工事の安全を確保するためフェンスで囲まれており、市民には進捗状況が分かりにくい状況となっている。工事進捗の情報発信については、現場フェンスにも完成イメージを掲げているが、さらに市民に分かりやすく工夫するとともに、適切なタイミングで広報かが、ホームページ、SNSで情報発信に努める。

運営については、維持管理コストの縮減を図りつつ、にぎわい創出を図るため、民間のノウハウを生かした指定管理者制度による運営が有効と考えている。サウナディング型市場調査では、民間事業者からは前向きな意向を複数いただいている。（建設部長）



▲加賀温泉駅全天候型広場施設
（建設中）

議員の
ひとこと
加賀温泉駅は加賀市の交通の要衝！未来型商業エリアと合わせ皆が期待している。

他の
質問

未来型商業エリアの進捗状況、加賀市屋内プール整備事業、加賀市のLINEの運用ほか

個人質問

林 直史 議員
はやし なおふみ

コミュニケーション
支援アプリの導入を！



問 聴覚に障がいのある方などの窓口対応を円滑にするためには、「コミュニケーション支援アプリ」が有効である。これにより「筆談」、「音声認識」、「手話通訳」など、利用者のニーズに応じて対応できるようになる。

本市でもタブレット端末を活用し、聴覚に障がいのある方などへの「翻訳支援」を導入すべきと考えるが、所見を問う。

答 タブレット端末を活用した翻訳支援アプリについては、日本語に加え外国語翻訳ができるものや、専用ディスプレイで掲示できるものなど、さまざまなものがある。

今後は、聴覚障がいのある当事者の助言もいただきながら、機能性などを確認したうえで、最適なものを導入し、聴覚障がいのある方への情報伝達を円滑にし、より一層の窓口の対応力の向上と、さらなる合理的配慮の提供につなげる。（市長）



議員の
ひとこと
障がいのある方が安心して利用できる窓口サービスの充実を願う！

他の
質問

子ども・高齢者の移動支援実証事業、自治会支援アプリの導入、子育て世代へのワンボックスカー購入補助金

個人質問

上田 朋和 議員
うへだ ともかず

**クマが身近な脅威に！
どう守る？市の対策と
これからの備えは？**



問 クマの出没が常態化する中、市が実施した生息環境調査の活用状況について問う。また、鳥獣保護管理法改正を踏まえた銃器使用や緊急対応マニュアルの整備、訓練の予定について見解を問う。

答 クマの出没件数増加を受け、令和3～5年度にクマの生息環境調査を実施した。自動撮影カメラを設置し、出没エリアや行動時期を把握したほか、調査結果を踏まえ、捕獲おりの増設や設置場所の見直しも行っている。目撃件数も増加しており、防災メールなどで注意喚起や誘引物除去の啓発も実施している。

鳥獣保護管理法の改正では、緊急時には市町村長判断での「緊急銃猟」が可能となるため、警察などの関係機関と法改正を共有し、ガイドラインに基づく緊急対応マニュアル作成や実地訓練を予定している。

議員の
ひこ

クマの出没が常態化する今、調査結果をもとにした対策強化と法改正も踏まえた具体的で実効性ある対応が必要。

他の
質問

広域観光における連携、旧歴史民俗資料館、旧加賀市教育総合支援センター

常任委員会・予算決算委員会分科会の主な審査内容

※6月23日・24日に2常任委員会・予算決算委員会2分科会が開かれ、それぞれに付託・分担された議案やその他の関連事項について審査しました。ここでは、その一部を紹介しています。

総務経済
委員会(分科会)

付託案件 9件
分担案件 1件

委員長	中川 敬雄
副委員長	荒谷 啓一
委員	一色 眞一
	中谷 喜英
	林 直志
	山口 忠志
	林 茂信
	川下 勉

問 議案第36号 令和7年度加賀市一般会計補正予算について、スマートサービス構築事業における事業の内容および事業導入後の効果を示せ。

答 加賀市内でモデル店舗を選定し、顔認証システム、キャッシュレス決済、置き配ロッカー等、総合的なパッケージ基盤を作成し、その基盤の中から店舗が希望するシステムを選択していただくこととしている。また、この基盤を導入することによって、販売機会の創出および販売員の作業効率化が図られ、そのことによって持続可能な店舗の経営が期待される。

問 議案第43号 加賀温泉駅全天候型広場施設条例について、加賀温泉駅全天候型広場施設の使用料等の算出根拠を示せ。

答 あわら市および福井市の同様の施設のほか、加賀市のイベント開催可能な施設である加賀市文化会館の利用料金を参考にした。また、平日、休日別に設定したことについても加賀市文化会館の例を参考にした。

教育民生
委員会(分科会)

付託案件 1件
分担案件 1件

委員長	南出 貞子
副委員長	上野 清隆
委員	若林 高
	東野 真樹
	上田 朋和
	辰川 志郎
	稲垣 清也
	林 俊昭

問 議案第36号 令和7年度加賀市一般会計補正予算について、加賀市学校教育ビジョンにおける学びの空間デザインの予算に関する今後の予定と完成スケジュールを示せ。

答 今年度の予算で2校、動橋小学校と山中中学校を予定しており、両校に必要な改修や備品の確認を行い、精査・検討して今年度中には完成する予定である。

問 議案第36号 令和7年度加賀市一般会計補正予算について、民生費において災害弔慰金1,015万円が計上されているが、その内容について示せ。

答 災害弔慰金は家族、ご遺族等の申請に基づき、審査の結果、支給するものである。当初予算要求時には相談がなかったが、現在2件の相談を受け付けており、災害弔慰金の支給等に関する法律では、世帯主等が亡くなった場合500万円、2名で1,000万円、審査会を開くための事務手続きに要する費用として15万円が必要となったものである。

総務経済 委員会

◎中川／○荒谷／一色／中谷／林（直）

山口／林（茂）／川下

◎委員長 ○副委員長

指定管理者の更新、萬松園あいうえおの杜の名称と開園などについて報告を受けました。



▲萬松園あいうえおの杜現地視察

※4月10日、5月8日、6月23日に委員会が開かれました。また、4月15日から17日にかけて行政視察を、6月23日には現地視察を行いました。（4月10日の委員会および行政視察は山口委員が欠席。現地視察は川下委員が欠席。そのほかの委員会には全ての委員が出席）

4月15日から17日にかけて、北海道苫小牧市、ふらのまちづくり株式会社、北海道千歳市を視察してきました。

行政視察報告

北海道苫小牧市 ～指定管理者制度等について～

苫小牧市では、指定管理者制度のモニタリングを実施し、全62施設の評価結果を市ホームページで公表しています。また、指定管理者と年2回の意見交換会を実施しています。その結果、業務の質向上や運営の改善につながっているとのことでした。

また、ネーミングライツ（命名権）の活用も推進しています。現在、体育施設10施設のほか、公園、道路、公衆トイレにもネーミングライツを導入し、年間約1,800万円の収入を見込んでいるとのことでした。

指定管理施設の一つである「まちなか交流センターコトマ」は、多世代が集い、学び、楽しむ交流拠点として整備されました。カフェ・多目的ホール・学習スペース・観光案内所等があり、まちなかのにぎわいを創出しています。

ふらのまちづくり株式会社

～フラノマルシェについて～

富良野市には多くの観光客が訪れていますが、中心市街地には魅力的な施設等がなく、まちなかは衰退する一方でした。

このような状況を打破するため、地元の企業や個人の出資により「ふらのまちづくり株式会社」が設立され、中心市街地活性化を推進しました。

平成22年に開業した「フラノマルシェ」は、地場産食品を生かした店舗や、イベントができる多目的広場があるほか、まちの玄関口として観光客をまちなかに周遊させ、にぎわいを創出しています。

観光客だけではなく地元住民にとっても魅力あるまちづくりを進めた結果、フラノマルシェの来場者数は年間120万人を超え、まちなかは人々ににぎわうようになったとのことでした。

委員会活動報告 行政視察報告

加賀市議会では、いくつかの委員会を設けて、市長から提案された議案審査のほか、毎月会議を開催し、各委員会が定めたテーマの調査・研究を進めています。ここでは、直近の各委員会の取り組みを紹介します。



▲コトマカフェ（苫小牧市）



▲フラノマルシェ（富良野市）

北海道千歳市

～千歳市防災学習交流センターについて～

千歳市防災学習交流センター「そなえる」は、「災害を学ぶ・体験する・備える」をキーワードに、いろいろな災害の疑似体験をしながら、防災に関する知識や災害が発生したときの行動を学ぶことができる施設です。

地震の揺れを体験できる施設や、火災時の煙を再現し避難体験ができる施設などがあり、市内の小学生が授業で訪れるなど、防災学習の拠点として活用されています。

周辺には、消火・救出体験ができる「学びの広場」と、調整池を兼ねた多目的広場「防災の森」も整備されています。

このような充実した施設は、市民の防災意識向上に寄与しています。



▲そなえる（千歳市）

教育民生 委員会

◎南出／○上野／若林／東野／上田／辰川／稲垣／林（俊）

◎委員長 ○副委員長

山中温泉ぬくもり診療所の運営状況、加賀市医療センターの運営状況、戸籍に記載する予定の振り仮名の通知、ひきこもり相談窓口の開設、地域子育て相談機関の開設、指定管理者の更新、加賀市立学校の規模・配置等の在り方などについて報告を受けました。

※4月11日、5月9日、6月24日に委員会が開かれました。また、4月16日から18日にかけて行政視察を行いました。
(委員会および行政視察には全ての委員が出席)

行政視察報告

4月16日から18日にかけて、東京都文京区社会福祉協議会、埼玉県志木市立いろは遊学館、神奈川県横須賀市を視察してきました。

東京都文京区社会福祉協議会

～「文京ユアストーリー」を中心とした文京区における 終活支援事業について～

文京区の終活支援事業は、地域福祉コーディネーターが、高齢者から「親族がそばにいない。自分の葬儀はどうなるのか不安がある。」という相談を受けたことがきっかけで始まりました。

対象者は、身近に頼れる親族がいない区内在住の70歳以上、契約能力があるなどの要件を満たす方です。元気なうちに自らの選択で契約し、必要に応じて役所のサービスを案内したり、利用者からの預託金を使ったサポートとして、入院、入所、転居時などに身元保証人の代わりとなる機能を提供したり、判断能力の衰えがみられる場合には、後見制度や介護サービスを紹介し、亡くなった後は、契約内容に沿って葬儀・事後処理・家財処分などの支援を総合的に行うとのことで、当市としても大変参考になりました。



▲文京区社会福祉協議会

埼玉県志木市立いろは遊学館

～学舎融合施設での事業実施について～

隣接する3つの施設（志木小学校・志木公民館・志木図書館）は、それぞれ「老朽化」「耐震改修」が問題になっており、「土地の有効活用」と「ランニングコストの抑制」についても課題となっていました。

当時の志木市の教育長の「合築ではなく複合施設を創る」というビジョンを実現するために学社融合施設として建設されました。

学社融合施設において期待できる教育的効果としては、地域ぐるみの教育、社会性の醸成等が挙げられます。課題としては、安全確保の問題があり、「防犯カメラの設置」「警備員の常駐」などの対策を講じているとのことでした。今後の公共施設整備において参考になる内容を多く含んでいました。



▲志木小学校

神奈川県横須賀市 ～終活支援事業について～

横須賀市においては、平成5年から引き取り手のない遺骨が増え始め、特に身元が判明している市民の遺骨が増加しているという問題が明らかになったとのことでした。

これらの身元が判明している方は、生前から孤立している場合が多いことが分かったことから、終活支援事業の実施を検討することになったとのことでした。

「わたしの終活登録事業」は元気なうちに安心につながる終活情報を市に登録するものです。本人の負担なしで、市が側面的な支援を行うものであり、万一の場合には、警察や病院などからの問い合わせに市が代行して回答するというものでした。市民生活の安心の確保を図るものであり、参考とすべき点が多くありました。



▲横須賀市

議会運営委員会

◎中谷／○山口／稲垣／林(直)／林(茂)／川下

◎委員長 ○副委員長

全員協議会、議会活性化特別委員会での協議結果、請願の取扱、9月定例会の日程案、クールビズ対応、議会提出議案、議事日程などについて協議しました。

※4月21日、5月26日、6月9日、6月16日、6月26日に委員会が開かれました。
(全ての委員が出席)

行政視察報告

4月22日から23日にかけて、大阪市 夢洲で開催されている「2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）」を視察してきました。

～「多様で心身ともに健康な生き方」「持続可能な社会・経済システム」について～

多くの国と地域が集まり、また、多数の国際機関などが提示する今後の方向性については、今後の本市の観光誘客に関する施策を検討する際の参考にもなるものと考えられたことから、今回の視察を行いました。

石川県関連では、昨年の能登半島地震や奥能登豪雨においても奇跡的に無事であった輪島塗地球儀が、能登地方の復旧・復興に向けてのシンボルとして展示されていました。

同じパビリオンの中には、石川県の伝統工芸の紹介もあり、その中には、九谷焼の絵皿等の展示もされていました。これも国内外にわが市の伝統工芸をPRする絶好の機会になっているものと思われました。



▲輪島塗地球儀



▲九谷焼の紹介

「持続可能な社会・経済システム」を目指す取り組みについては、会場内において、カーボンニュートラルの観点から、最新鋭のEVバスが移動手段として運行されていました。また、本市においても課題とされている「担い手不足」及び「農業の重労働」を多彩なイノベーションで解決しようとする展示内容の未来の食と農を考えるパビリオンもあり、将来の農家の労働環境の向上が期待できる成果が展示されていました。

その他、本市でも政策課題となっている、空飛ぶクルマの展示がされており、デジタル田園健康特区に指定された本市において、その優位性を活かしたイノベーションや先進的なテクノロジーの成果を市民がいち早く実感できる社会を実現するため、議会としても引き続き調査・研究に尽力することが必要であるとあらためて認識したところです。

急速に技術の進展が見込まれる今後の社会にあって、市民が議会に求めるものも自ずと変化していくものと思われます。

そのような中において、しっかりと市民の負託にこたえられる議会運営およびさらなる議会改革を進める上で、今回の視察で学んだことを、今後に生かしていきます。



▲EVバス



▲農作業完全無人化に関する研究発表

新幹線・ 観光誘客 特別委員会

◎山口／○荒谷／若林／一色／南出／辰川／中谷／林(直) ◎委員長 ○副委員長

北陸主要温泉地の宿泊状況、全天候型広場施設の工事進捗状況などについて報告を受けました。

※ 5月8日に委員会および委員協議会が開かれました。(全ての委員が出席)

スポーツ 推進 特別委員会

◎東野／○上野／中川／上田／稲垣／林(茂)／林(俊)／川下 ◎委員長 ○副委員長

加賀市のスポーツ推進施策・活動、市内体育施設における合宿等の使用状況、スポーツツーリズムなどについて協議しました。

※ 4月11日、5月9日に委員会が開かれました。(全ての委員が出席)

議会 活性化 特別委員会

◎上田／○南出／上野／若林／荒谷／一色／東野／中川／山口 ◎委員長 ○副委員長

令和7年度中学生議会実施計画(案)、令和7年度議会報告会「議会おでかけトーク」、議会おでかけ教室などについて協議しました。

また、広報部会では議会だより令和7年5月号の確認、議会だより令和7年8月号の発行スケジュール・紙面構成などについて協議しました。

※ 4月10日、5月8日に委員会が開かれました。また、4月10日、6月16日に広報部会が開かれました。

(4月10日の委員会は山口委員が欠席。そのほかの委員会および広報部会には全ての委員が出席)

※委員のうち、広報部会は7名で構成されています。

在職35年議員・ 在職15年議員に

表彰状伝達

北信越市議会議長会・全国市議会議長会からの表彰を受けた
各議員への表彰状の伝達を6月定例会開会日の冒頭に行いました。



在職35年表彰

林 俊昭 議員
林 茂信 議員



▲ 林 茂信 議員



▲ 林 俊昭 議員

在職15年表彰

中谷 喜英 議員
稲垣 清也 議員



▲ 稲垣 清也 議員



▲ 中谷 喜英 議員

全国市議会議長会から

感謝状贈呈

全国市議会議長会から、評議員としての会務運営の功績をたたえ、
今津和喜夫議長に感謝状が贈呈されました。



小学生の議会傍聴

6月定例会において、議会や行政への関心や理解を深めることを
目的とした、ふるさと学習・社会体験の一環として、「小学生の議会
傍聴」が行われました。

この活動は平成23年度から実施されており、6月20日の質疑・
一般質問日に分校小学校17人の児童が、本会議での議員の質問や、
市長をはじめとした当局の答弁に熱心に耳を傾けていました。

初めて入る議場の雰囲気、少し緊張気味の子どもたちでした。



告知

8月5日(火)に令和7年度中学生議会を開催します！

若年層に政治に関心を持ってもらうことや、議員のなり手不足解消
の取り組みとして、8月5日に令和7年度中学生議会を開催します。

中学生議会とは、加賀市の未来を担う中学生に、選挙権年齢の引き
下げにより身近なものとなった議会や市政への理解と関心を高めても
らうとともに、市政に対する要望や質問を発表する機会を提供し、中
学生の視点からの意見を今後の市政運営に反映させていくことを目的
とした取り組みです。

これまで小学校、中学校、高校を対象に合計5回開催しており、今
回で6回目となります。

日時：8月5日（火）

午後1時から午後3時頃まで

場所：加賀市役所本館3階議場

※傍聴される場合は4階傍聴席まで
お越しください。席は先着順となり
ます。(35席)

また、当日はケーブルテレビおよ
びYouTubeでも放送しますので、
ぜひご視聴ください！

議 決 | 一 | 覧

ここでは、賛否が分かれた議案を掲載しています。その他の議案は全会一致で承認・可決・同意されました。全議案等の内容は、加賀市議会ホームページをご覧ください。



6月定例会で賛否が分かれた議案

議 案 名		議 決 結 果	会 志 昂							自 民 かがやき										
			林直史	中谷喜英	稲垣清也	上田朋和	中川敬雄	東野真樹	荒谷啓一	川下勉	林茂信	山口忠志	辰川志郎	南出貞子	上野清隆	林俊昭	一色眞一	若林高	今津和喜夫	
予算案件 (1件)	令和7年度加賀市 一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	—	
条例案件 (1件)	加賀温泉駅 全天候型広場施設条例 について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	—	
その他 案件 (1件)	萬松園あいうえおの杜の 指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	—	
議会提出 案件 (1件)	持続可能な高額療養費制度 になるよう更なる議論を 求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—	

○ は賛成 × は反対 退 は退席 欠 は欠席 ※議長 今津 和喜夫は採決に加わりません。

9月 定例会のお知らせ

次の定例会は8月18日から9月3日までの17日間です。

- 8月18日(月)10:00～ **本会議** 開会、市長提出議案説明
 27日(水) 9:30～ **本会議** 質疑・一般質問
 28日(木) 9:30～ **本会議** 質疑・一般質問、委員会付託
 29日(金)10:00～ **委員会** 総務経済委員会(分科会)
 9月 1日(月)10:00～ **委員会** 教育民生委員会(分科会)
 3日(水)13:30～ **本会議** 委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

傍聴者・読者の声 を募集します

議会を傍聴してのご意見や議会だよりを読んでものご感想を、議会だよりで紹介していきます。皆さまからの多数の応募をお待ちしています。

応募方法

「氏名」と「連絡先」を記入し、見出しに「傍聴者・読者の声」と明記の上、下記の宛先まで応募ください。

※定例会・委員会の日程は、議会ホームページ、広報かがに掲載しています。
 ※詳しくは議会事務局までご連絡ください。

あて先

〒922-8622 加賀市大聖寺南町二丁目41
 TEL 0761-72-7965 FAX 0761-72-5305
 E-mail gikai@city.kaga.lg.jp



編集後記

令和7年6月定例会は、13人の議員が質問に立った。中でも未来型商業施設については、賛成派と反対派で熱い議論となった。その他にも石川県が発表した地震被害想定を受けての質問が多く出た。

また、5月に市内11地区で開催した議会報告会「議会おでかけトーク」で市民からいただいた意見を踏まえた質問も多々あり、加賀市議会として市民の声を当局に伝えることができた。

議論の内容などについては、加賀市議会YouTubeチャンネルをご覧ください。M・H

議会活性化特別委員会広報部会

部 長 ● 上野 清隆
 副部長 ● 若林 高
 部 員 ● 荒谷 啓一 一色 眞一
 東野 真樹 中川 敬雄
 南出 貞子

政治家の寄附行為は法律で禁止されています。

政治家の時候のあいさつ状・中元や歳暮・祭りや会合・各種大会への寄附などは、公職選挙法で禁止されています。有権者が求めてもいけません。市民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

点字・音訳版
「加賀市議会だより」を
知っていますか？

文字による情報を利用することが困難な人に、加賀市議会だよりの点字版・録音テープ版またはCD版を市内のボランティアの人たちが製作し、自宅へ郵送します。 **お問い合わせ** 社会福祉協議会 72-1500 (担当:吉倉)

本誌は、見やすく読み間違えない
ユニバーサルデザインフォントを使用しています。

UD
FONT